

# 政務活動報告書

議員名 寿松木 孝

実施した政務活動の内容	<input type="checkbox"/> 研修 <input checked="" type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和 平成 / 年 6 月 26 日 (水) 午前・午後 6 時～ 令和 平成 / 年 6 月 28 日 (金) 午前・午後 ～ 9 時	
場所	鳥取県 琴浦町・境港市・智頭町	
主催区分	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (会派+1名)	
同行者名	塩田 勉・佐々木 喜一・播磨 博一・佐藤 誠洋	
行程及び経費	行程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
実施概要と所感	<p>○琴浦町 スクールバスを活用したデマンド交通についてを研修。当市では、これまでにスクールバスは目的外使用とことからデマンドへの活用が見送られてきたが、実際の申請方法なども教えていただき具体的な活用方法を学ばせてもらった。</p> <p>○境港市 平成15年に開館した水木しげる記念館の現在を確認してきました。朝ドラのブームが去った後であり、平日でしたので閑散としていましたが、記念館は展示内容を変えるなどの努力をされ、入場者数の確保を図っていました。</p> <p>○智頭町 疎開保険について…発生の確率が高いとされている南海トラフ大地震の発生を念頭に、想定される津波などの被災地などから非難される方々を受け入れることを目的に創設されたものでしたが、加入者は余り多くいない状況でした。</p>	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2 (往復) でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

## 会派さきがけ＋1名 研修報告書

研修場所 鳥取県琴浦町・境港市・智頭町  
研修内容 琴浦町 予約型ことうらバスの運行について  
(スクールバスの活用)  
境港市「水木しげる記念館」の現状  
智頭町 疎開保険について  
智頭町百人委員会について

参加者名 塩田 勉、佐々木 喜一、播磨 博一、佐藤 誠洋、寿松木 孝

研修日程 令和1年6月26日(水)～28日(金)

26日

秋田空港 - 羽田空港 - 米子空港 - 琴浦町 - 米子市内泊

26日

ホテル - 境港市「水木しげる記念館」 - 鳥取市内泊

27日

ホテル - 智頭町 - 鳥取空港 - 羽田空港 - 秋田空港

研修経費

\*内容は別紙

合 計 369,730円 ÷ 5人 = 73,946円

一人当たり負担金 73,946円 以上の通り報告致します。

令和 1年 月 日

寿松木 孝



[別紙]

月 日	金 額	適 用
6月20日	347,400	旅費(航空機・宿泊代・レンタカー代含む)
6月26日	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
	5,000	1,000X5 琴浦町研修資料代金
6月27日	3,500	700円 X5 水木しげる記念館入館料
6月28日	5,000	1,000X5 智頭町研修資料代金
	5,140	レンタカーガソリン代
	1,530	秋田空港駐車料金
	1,080	高速代(ETCのため領収書なし)
合 計	369,730 円	

## 1. 琴浦町 予約型ことうらバスの運行についての経緯

### ○運行事業者からの事業撤退の申し入れ

琴浦町では昨年度まで路線バス、デマンド路線、スクールバスの運行をバス、タクシー事業者に委託契約を行っていたが、昨年の8月に受託していた全ての事業者から平成31年度以降事業を撤退したい旨の申し入れを受けた。

その後、これまでの業者との協議を継続しつつ新たな委託先も検討したところ一路線を除いて委託することとした。

### ○デマンド路線とスクールバスとの混乗の検討

委託先の決まっていないデマンド路線は、スクールバスと経路が重複していたため、混乗による運行が可能かの検討を行った。

デマンドのこれまでの乗車実績から、スクールバスの定員には余裕があることから混乗が可能であったことから、運行ダイヤをスクールバスに合わせることで効率的な運行が可能と判断し、スクールバス運行予定事業者と交渉し受託の意向を確認した。

### ○実際の運用に際し…

上記の検討結果を受け教育委員会との調整を経て、保護者への説明と同意を得た。また、スクールバスを活用するため承認申請など様々な手続きを経て実施となった。

### \*所 感

琴浦町の予約型ことうらバスの運行については、そもそもスクールバスの運用方法が委託という形態であり、当市の直営での運用とはその成り立ちが違っているが、運用に至る背景には類似している点も多く感じられた。

そして、その運用に至るための補助申請の方法などについて小松町長自らが説明者として出席され、その考え方などについて教示していただいた。

その中で印象的だったのは町長自身の熱意、その強い思いが法的な問題や補助金の縛りなどの難題を解決していたことだった。

また、課題解決のための申請方法などについてもそのノウハウを教えていただいたことに感銘を受け、トップの熱い思いが感じられた研修だった。

## 2. 境港市「水木しげる記念館」の現状について

平成15年にオープンした水木しげる記念館、数年前にもこの記念館を視察したが、その時点ではゲゲゲの女房の放送後だったこともあり、それなりの賑わいを感じた。ただ、これらの施設はリピーターの確保が難しいとも言われていることもあり、その後の状況を確認すべく来館してきました。

施設の方の話では、平成29年～30年にかけて水木しげるロードや記念館、鬼太郎列車のリニューアルなどの効果もあり、来館者数は若干の伸びがあるとの内容でした。



### \*所感

来場似たのが平日だったこともあり、来場者はまばらだった。  
ただ、職員の方の話では様々な工夫をすることで、来場者は減っていないとのことだったが、実際には水木しげるロードも閑散としており、着ぐるみの妖怪も寂し気な気配を漂わせていた。

この状況から、現在賑わいを見せている増田まんが美術館も近い将来リニューアルなどを含めた様々な工夫をする必要性を強く感じた。

空港や電車などの公共交通を初め様々な場所でアピールしている鬼太郎、境港市の鬼太郎を中心にした本物の「まちづくり」の本気度が感じられた。

### 3 智頭町「疎開保険」・「百人委員会」について

智頭町で展開している疎開保険は、災害を切り口とした地域間交流や地域おこしも視野に入れた事業だった。

地震などの災害が発生した場合に疎開していただき1泊3食7日間の生活を保障する仕組み、保険代金は一人10000円/年、ファミリー3～4人コースが20000円で加入できるとのことで、現在150名ほどの加入実績との事であった。

また、百人委員会については、高校生以上の町民や町内に勤務をされている方々を委員とし、7つの部会に分かれて所属していただき政策提案をし、町長等と予算交渉を経て議会が審査する仕組みで地域の声をダイレクトに反映させる仕組みであった。

#### \*所 感

智頭町は位置から分かる通り海から離れていることもあり、想定されている南海トラフ巨大地震などからの避難先としての受け入れを想定していると感じた。ただ実際の災害はその発災の時期が特定できないこともあり、現状では地域間交流や地域おこしが主となっているようだった。

百人委員会は町民の様々な要望をダイレクトに事業化していく仕組みであり、また、委員を務めることで地方自治に興味を持ってもらえることで議員のなり手不足にも一定の効果があったようだった。

町の総面積の93%が山林の智頭町は森林セラピーにも力を入れており様々な工夫で町を盛り上げようとする熱意が感じられた。

